

まえがき

本研究資料は、平成 23 ～ 25 年度のプロジェクト研究『農業構造の変貌と地域性を踏まえた農業生産主体の形成・再編に関する研究』の中で行った、2010 年農業センサスの分析に係る研究成果を取りまとめたものである。

ところで、農業センサスは 5 年ごとに全国一斉に行われる農業経営体（農家等）の悉皆調査であり、わが国農業構造の現状把握と動向分析を可能とする総合的・体系的な調査データは、常に関係者の注目を集めてきた。今回の 2010 年農業センサスは、「水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）」実施後の農業構造を把握したものであり、同対策の導入が各地域の農業構造にどのような影響を及ぼしたのかを明らかにすることがとりわけ高い関心を呼んでいる。加えて、2009 年の政権交代によって翌年度から「戸別所得補償制度」がスタートすることになるが、その出発点での農業構造を正確に把握しておくという観点からも重要な意味を持つものである。

このため当研究所では、この 5 年間の農業構造変動の特徴や地域性を明らかにし、現段階における農業構造問題の所在をいち早く行政および研究の両面に提起することを目的に、2010 年農業センサスの詳細なデータが公表されると同時にチームを編成し、テーマと担当者を決めて多角的に分析を進めてきた。しかし、限られた人員での作業であったため、わが国の農業・農村構造問題を全領域にわたってカバーするには至っておらず、各章でとりあげた課題に対しても、それぞれ十分な分析がしつくされているわけではない。関係諸賢の忌憚のないご批判とご教示をお願いしたい。

なお最後に、センサスデータの提供に便宜を図って頂いた農林水産省統計部センサス統計室の皆様に、深く感謝申し上げる次第である。

平成 25 年 2 月

農林水産政策研究所
構造分析プロジェクト
統計分析チーム